【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和6年4月18日(2024.4.18)

【国際公開番号】WO2023/007915
【出願番号】特願2023-501172(P2023-501172)
【国際特許分類】
F24F 11/86(2018.01)
F24F 11/66(2018.01)
F24F 11/80(2018.01)
F24F110/10(2018.01)
F24F110/12(2018.01)
【FI】
F24F 11/86
F24F 11/66
F24F 11/80
F24F110:10
F24F110:12

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月26日(2022.10.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
室内機及び室外機を有する空調機の前記室内機が設置される対象空間の温度である第１温度を取得する第１取得ステップと、
前記第１取得ステップが取得した前記第１温度に基づいて、前記室外機が有する圧縮機の動作を制御する制御ステップと、を含み、
前記制御ステップでは、前記圧縮機の動作中において前記第１温度が第２閾値を超えると前記圧縮機を停止させ、前記圧縮機の停止中において前記第１温度が第１閾値を超えると前記圧縮機を動作させ、
前記圧縮機の停止中における前記第１閾値と、前記圧縮機の動作中における前記第２閾値とは、互いに異なる、
空調制御方法。
【請求項２】
前記空調機が暖房運転を行っている場合、前記圧縮機の停止中における前記第１閾値は、前記圧縮機の動作中における前記第２閾値よりも高い、
請求項１に記載の空調制御方法。
【請求項３】
前記空調機が冷房運転を行っている場合、前記圧縮機の停止中における前記第１閾値は、前記圧縮機の動作中における前記第２閾値よりも低い、
請求項１に記載の空調制御方法。
【請求項４】
前記第１閾値及び前記第２閾値は、前記第１温度の単位時間当たりの変化量に基づいて決定される、
請求項１～３のいずれか１項に記載の空調制御方法。

【請求項５】
前記第１閾値及び前記第２閾値は、前記圧縮機の運転が切り替えられた時点から前記第１温度の単位時間当たりの変化量の正負が反転するまでの遅延時間に基づいて決定される、
請求項１～３のいずれか１項に記載の空調制御方法。
【請求項６】
外気温である第２温度を取得する第２取得ステップを更に含み、
前記第１閾値及び前記第２閾値は、前記第２取得ステップが取得した前記第２温度に基づいて決定される、
請求項１～３のいずれか１項に記載の空調制御方法。
【請求項７】
前記対象空間は、ユーザが就寝する寝室であって、
前記制御ステップは、前記ユーザの就寝時に実行される、
請求項１～３のいずれか１項に記載の空調制御方法。
【請求項８】
１以上のプロセッサに、
請求項１～３のいずれか１項に記載の空調制御方法を実行させる、
プログラム。
【請求項９】
室内機及び室外機を有する空調機器の前記室内機が設置される対象空間の温度である第１温度を取得する第１取得部と、
前記第１取得部が取得した前記第１温度に基づいて、前記室外機が有する圧縮機の動作を制御する制御部と、を備え、
前記制御部は、前記圧縮機の動作中において前記第１温度が第２閾値を超えると前記圧縮機を停止させ、前記圧縮機の停止中において前記第１温度が第１閾値を超えると前記圧縮機を動作させ、
前記圧縮機の停止中における前記第１閾値と、前記圧縮機の動作中における前記第２閾値とは、互いに異なる、
空調制御システム。
【請求項１０】
請求項９に記載の空調制御システムと、
前記対象空間に設置される前記室内機と、
前記対象空間の外部に設置される前記室外機と、を備える、
空調機。